

第13回 第3次丹波市総合計画審議会 会議録

日時：2024年6月7日（金）

10:00～12:00

場所：本庁第2庁舎2階ホール

【出席者委員】（敬称略）

森島 斉、芦田 基、大野 亮祐、坂本 康子、足立 はるみ、河南 光夫、柳瀬 長明、
杉岡 秀紀、山口 洋子、池畑 美帆（10名）

【欠席者委員】（敬称略）

上羽 裕樹、岸本 好量、竹内 真子、植木 光敏、金川 方子、實吉 直（6名）

【事務局】

細見副市長、清水ふるさと創造部長、磯崎総合政策課長、荻野副課長兼情報政策係長、垣内政策係長、
足立沙織主事、足立将人主幹、足立優主査

【傍聴者】

なし

配布資料：【資料1】第3次丹波市総合計画（案）

【資料2】第12回審議会・議会等の意見・対応一覧

【資料3】こども版総合計画 他市事例

【資料4】パブリックコメント 実施要領（案）

【資料5】市民説明会 実施要領（案）

【参 考】丹波市総合計画審議会委員名簿

1. 委嘱書の交付

丹波市身体障害者福祉協会の 副会長 河南 光夫氏を新たに委嘱（寺内 清氏の後任）

2. 開会

審議会の様子を総合計画に掲載したい。写真撮影をさせていただく。

3. あいさつ

【会 長】 今回は、前半は審議会スタイルで協議を進め、後半はワークショップスタイルで話し合いをすることを想定している。

【副市長】 市民の皆様へのパブリックコメント前の最後の審議会となっている。前回からの審議でいただいた皆様のご意見が反映されているか、最終の確認をいただきたい。また、今回の審議会の後半では、特にこどもたちに向けて分かりやすい概要版の計画について、ご意見をいただきたいと考えている。皆様に考えてもらった将来像が、こどもたちの口か

らふっと出てくるようになれば、この計画が未来へのバトンになると思う。市民に広く知ってもらえる計画となるよう、よろしくお願いいたします。

【会 長】 本日は、総合計画（案）のパブリックコメントに向けた最終確認をお願いしたい。また、総合計画の概要版をこども向けにつくっていくことを検討する。全国でもこども版は、多くの自治体もっている訳ではないので、非常に重要な視点である。丹波市ならではのものとなるようご意見をいただきたい。

4. 協議事項

（1）第3次丹波市総合計画（案）について【資料1・2】

- ・・・・事務局より資料1・2を説明
- ・・・・事務局より資料1の修正について説明
- ・資料1のP83「日常生活のなかで、ゼロカーボンアクションに取り組んでいる市民の割合」目標値（RI1）の数値を50.0%→70.0%に修正
- ・資料1のP88の一番下に用語解説を記載している四角枠部分を削除
- ・資料1の最終ページ「第3次丹波市総合計画 分野別計画一覧」の最下段に記載する「丹波市過疎地域持続的発展計画」は、施策の方針を示すものではなく財源計画であることから削除

【会 長】 序論・基本構想の修正箇所についてご意見はあるか。

・・・・委員からのご意見はなし。

【会 長】 まちづくりの目標1の修正箇所についてご意見はあるか。

・・・・委員からの質問はなし。

【会 長】 まちづくりの目標2の修正箇所についてご意見はあるか。

【委 員】 まちづくりの目標2について、私自身も市民活動課とも直接協議をしたので、この記載で問題ないと思う。

【委 員】 自治協議会だけでなく、自治振興会の表現を含めなくて良いのか。

【事務局】 個々の名称が異なっていることは把握しているが、市としては、一般的には自治協議会として取り扱っているのでこのままとさせていただきたい。

【委 員】 P37の施策の展開02の最下段に「市民・地域の負担軽減」とあるがどういう意味か。

【事務局】 各部署が各自治協議会や自治会に行っている依頼を整理し、市として1つにまとめる形で依頼するなど、地域の負担を軽減するための行政支援に切り替えていくという意味で記載している。

【会 長】 「市民・地域」と記載すると意味がぼやけるので、「自治協議会や自治会の役員」の負担を軽減するという表現にしても良いかと思う。

【委 員】 自治会役員のなり手不足から、昨年度ようやく県でも勉強会が開催された。その時の講師が、地域の担っている下請け的な負担を軽減することで持続可能な運営が実現できるということをおっしゃっていた。分かりやすい表現で記載できれば良いと思う。

【事務局】 具体的にどんな負担か分かるように表現を見直したいと思う。

【会 長】 まちづくりの目標3の修正箇所についてご意見はあるか。

・・・・委員からのご意見はなし。

【会 長】 まちづくりの目標4の修正箇所についてご意見はあるか。

・・・委員からのご意見はなし。

【会 長】 まちづくりの目標５の修正箇所についてご意見はあるか。

観光に関して、「観光地づくり」の表現があるが、京都府では観光事業者だけでなく、地域づくりの視点も含めた「観光地域づくり」という表現を使っている。観光地づくりだけでは言葉が弱いので、「観光地域づくり」としてはどうか。また、たんばコインを使ってもらうなど地域内消費を促す仕組みづくりなど、基幹産業化といった表現が加わっているがご意見はあるか。

【委 員】 観光基幹産業化は永遠の課題であると思う。施策の展開 〇Ⅰにある観光拠点と交通機関との連動が必要だと考えている。春日と青垣の道の駅でもバラバラの方向性ではなく、儲かる地域づくりという視点が丹波市観光・商工業ユニティプランにも記載されているため、どちらの方向に向いて進んでいくかの共通理解が必要だと思う。

【会 長】 公共交通機関との連動や観光における地域づくりについてもご意見をいただいた。周遊観光の記載なども含まれており、表現としてはこのままで大丈夫か。

【委 員】 このままの記載で良い。

【委 員】 春日のインターチェンジはスクランブル交差点となっており、丹波市の強みであると思う。その他にも、青垣のインターチェンジや、西脇市方面からの国道の整備が進められており、交通基盤の強みを前面に出した表現ができないか。

【会 長】 Ｐ１２の都市構造とも関連があるが、そのような表現をした箇所が他にあるか。

【事務局】 Ｐ８の丹波市の概要では、京阪神エリアからのアクセスに恵まれているということは記載しているが、施策の展開のなかでは記載していない。このことを意識して、各個別計画では、様々な取組・事業を展開していきたいと考えている。

【会 長】 地の利を活かした観光施策をもう少し表現できないかということだと思うため、記載を検討いただきたい。

【委 員】 観光拠点は何か所かあるべきだと考えている。柏原が観光を活かしたまちづくりを進めていたが頓挫している。かいばら一番館を拠点とし、一体のエリアを歴史も含めた観光振興・まちづくりができないか取り組んでいたが、色々な課題があり、地域とともに考えていくことが難しい現状がある。行政がリーダーとして引っ張っていかないと、これまでやってこられたことが無駄にならないようにしてほしい。ドライバーが寄るところだけが観光拠点になるのではいけない。まち歩きが一番重要なポイントだと思うので、その視点をしっかり落とし込むことがこれからの課題だと思う。

【会 長】 地域資源の見直しの視点から、「ウォーカブル」なまちづくりという言葉を見るようになった。道の駅は車を前提にしているが、柏原のように「歩けるまちづくり」という視点も必要ではないか、関連部署と検討してほしい。

【委 員】 柏原では、県のシリ丹バレーの構想もある。柏原病院の跡地を活用して、農福商工が連携し、また、柏原駅の東側だけでなく裏側もまち歩きができ、SNSで映えるまち歩きなどが広まればというような話もしていたが、今ある丹波市の資源が活かされ、活性化していくような地域づくりのイメージを持てるような表現があれば嬉しい。

【事務局】 「まち歩き」という視点は、記載できていない部分だったかと思うので、持ち帰り検討したい。かいばら一番館や柏原駅周辺は、市として活用していくべき資源だと認識している。ただし、様々な可能性を探るべきことであり、観光の視点だけで整理することは

難しいため、ここでは記載をしていない。現行の計画では、柏原地域は中心市街地活性化エリアとしての位置づけで記載していたが、第3次計画では、ご意見いただいた「まち歩き」の視点からの表現を記載するような形で検討したいと思う。

【会 長】 観光だけではないといった視点もあるということだったので、どのように記載していくかは担当部署とも調整していただきたい。

【委 員】 施策の展開 02 には、「観光案内所などで魅力ある観光情報を提供」という記載があるが、観光案内所だけではないと思うので書きぶりを修正できないか。

【会 長】 「観光案内所など」となっているため、観光案内所だけではないことは読み取れるが、観光案内所だけをあげているため、限定的に感じてしまうのではと感じる。

【事務局】 「観光案内所など」としているのので観光案内所に限定をしている訳ではないが、担当部署では、道の駅おばあちゃんの里に観光案内所があることから、このような表現をしているのだと思う。持ち帰り検討させていただきたい。

【会 長】 ここ近年で、旅行の情報収集などの手法も大きく変化してきた。現在は、インターネットが主流になっている。情報発信はホームページが基盤になるということも含めて、表現の検討をいただきたい。

【委 員】 P66-67 の商工業について、P68-69 の農林業の施策に比べるとボリュームが少ない印象を受ける。

【会 長】 文量が込める想いに比例すると思われるのもったいないのではというご意見であったかと思う。中小企業・小規模企業支援についても1項目しかない。

【事務局】 商工業の施策については、ご意見のとおりコンパクトな記載になっている。中小企業・小規模企業支援については、「地域経済の活性化につながる事業を支援します。」というように、広く意味を持たせて記載をしている。人材育成も踏まえた文章にしており、一つの文章にはなっているが、様々な意味合いを含んでいる。また、企業立地の視点も今回追記させていただいた。農林業と比べるとボリュームが少ないというご意見だが、担当部署にも追記ができるか相談する。

【会 長】 テクニックとしては、一つの文章で書ききらず、2項目に分けて記載することもできると思う。

まちづくりの目標6の修正箇所についてご意見はあるか。

・・・委員からのご意見はなし。

【会 長】 まちづくりの目標7の修正箇所についてご意見はあるか。

丹波市ゼロカーボンシティ宣言が見られるよう二次元コードの記載があったほうが良いのではないか。

【委 員】 丹波市ゼロカーボンシティ宣言が総合計画、どちらが上位に位置づくものなのか整理する必要があるのではないか。

【会 長】 総合計画が最上位計画になる。「丹波市ゼロカーボンシティ宣言に基づき」となっているのが分かりにくいのかと思う。誤解のある表現になっているようであれば修正が必要である。

【事務局】 担当部署に確認して、表現を修正する。

【会 長】 まちづくりの目標8の修正箇所についてご意見はあるか。

【委 員】 柏原支所を利用したとき、職員の人たちと話しやすかった。内部でそのような取組をさ

れているのかなと思い、柔軟な対応をしてもらって、ありがたいと思っている。

- 【委員】 各種ハラスメントの対応についても記載するのはどうか。セクハラなどだけでなく、最近カスタマーハラスメントについても耳にするようになった。職員も市民の方から高圧的に接されるなどあるかと思うので、職員を守っていくことも追記されてはどうか。
- 【会長】 セクハラやパワハラは、それを防ぐ根拠があるが、カスタマーハラスメントについてはない。職員を守る視点について記載しても良いのではないかと思う。
- 【事務局】 職員からすると非常にありがたいご意見である。追記できないか担当部署と検討させていただく。
- 【委員】 SDGs アイコンと施策を結びつけているが、何を主体として、こういった基準で記載しているか。
- 【事務局】 事務局、担当部署、委託業者と調整のうえ設定している。市民・事業者・行政が目的の共通認識を持てるよう設定している。
- 【会長】 SDGs は自分で目標を立て、評価することが本質である。アイコンを張り付けるだけであれば望ましくないのだが、総合計画として、記載していくのではなく、市民や事業者など総合計画の読み手が、目標を設定し運用していくよう、各方面においての気づきの入り口として設定しているという認識だと思う。
- 【委員】 全体的な見やすさでいうと、文字が多いので、どこを見れば良いか分かりづらい。「現状と課題」と「施策の展開」の項目数が違うので、内容がリンクすれば読みやすくなるのではないか。
- 【会長】 読んでいる人が、読みたい箇所が分かりやすいような仕掛けというのは事務局で検討いただきたい。

（２）第３次丹波市総合計画（概要版）の作成について

・・・２グループに分かれて、資料３をもとに、総合計画の概要版について協議をした。

- 【Ａグループ】 小学校３年生の社会科の授業で地域のことを学び始めることから、小学校３年生が読めるものにしてはどうかというご意見があった。イメージとしては、小田原市の事例をベースに、余白やルビを意識して作成したら良いと思う。授業で使われることを想定されているため、授業のストーリー性を重視した内容となっており、とても良いというご意見があった。一方で、こどもが使うだけでなく、大人にも見てもらう資料になるので、「こども版」とせず「こどもにも分かる」というような位置づけにしてはどうかというご意見があった。現在、こどもたちから募集している絵画を表紙に掲載するのも良いというご意見があった。
- 【Ｂグループ】 小田原市の事例が良いという意見があった。８ページ程度のボリュームが良いのではないかというご意見があった。地域の特色が冒頭でわかるような構成とすることで、興味を持っていただけるのではないかというご意見があった。この概要版を使って小学生が勉強をするような資料にできたら良い。マイナスイメージの内容を載せるのではなく、前向きな課題解決になるような内容となるように構成する。文字離れが進んでいるので文字数を減らし、かつ、大きさにも意識する必要がある。ル

ビはすべてに付けるのではなく、一定の年齢を基準とし、必要最低限の方が分かりやすい。

【会 長】 こどもをターゲットとして、大人の方にも見てもらえるような入口としての資料になったら良いとのことだと思う。こども版ではなく、あくまで概要版として作成していくという視点で、次回の会議に向けて案を作成いただけたらと思う。デザイン、余白、Q A などの仕掛けなど意識して作成をお願いしたい。

5. その他

(1) パブリックコメント・市民説明会の実施について

・・・事務局より資料4・5の説明。

(2) 今後の予定

概要版の作成のため、7月に追加で第14回審議会を開催させていただく。

6. 閉会

【副会長】 終わりが見えてきたが、引き続きご意見をいただき進めていきたい。

以上